

厚生労働省は医療機関の機能に応じた役割分担と医療連携を進めています。

当院は救急病院として、救急患者さまやクリニックでの検査・治療が困難な患者さまの診療を行う役割を担っています。そのような患者さまをより多く受け入れるため、当院では『ふたり主治医制』を推進し、治療方針や処方内容が決まり病状が安定した患者さまには、担当医の判断のもと、地域のクリニックへ紹介をさせていただいております。

『ふたり主治医制』をすすめることで、外来・入院診療の混雑が緩和され、専門的な治療や入院が必要な方を適切に受け入れ迅速に対応できる医療体制となります。紹介した患者さまの状態が変化した時にも、スムーズにクリニックと連携し、当院での治療を受けていただくことができます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「ふたり主治医制」とは

横浜新緑総合病院の医師とかかりつけの医師が主治医となり、互いに連携し、継続的に治療を行うことです。

かかりつけ医とは（地域のクリニックの役割）

- 日頃の健康管理、生活習慣の指導、病気の初期治療などを行う地域の身近な医師のことです。
- 入院や手術後の状態の落ち着いた方の経過観察や、生活習慣病などの継続的治療を行います。

横浜新緑総合病院の役割

- 精密検査や特殊な検査、入院や手術、専門的な治療を行います。
- 病状が急変した場合の救急医療を担います。

かかりつけ医を持つメリット

- 今かかっている病気の治療、生活指導、健康相談など、全部まとめて「あなた」の専門医です
- いつも同じ医師が診察するため変化に気づきやすく、健康状態が気になったらすぐに相談できます。
- 平日は夕方まで診療しているところが多くあります
- 専門的な検査や処置が必要な時には、当院や適切な病院への紹介がスムーズです。
- 大きい病院よりも短い待ち時間で診察が受けられます。

病院のかかり方

- 普段は定期的にかかりつけ医に通院し、診察と処方などを受けます。
- 専門的な検査・治療が必要な時に、かかりつけ医から紹介を受け当院を受診します。
- 当院での治療が終了したら、当院からの紹介状を持ってかかりつけ医を受診します。
- 患者さまの治療経過や検査結果は、かかりつけ医と情報共有します。

かかりつけ医ってどう決めたらいいの？

- 普段の健康管理で通っているかかりつけ医（クリニック）があれば教えてください。
- かかりつけ医をお持ちでない方は、地域連携窓口にてご紹介いたします。